

みんなで
CO₂を削減
しよう

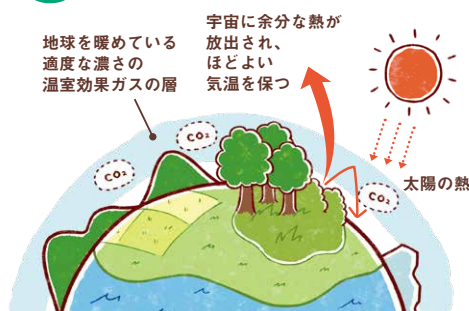
地球温暖化を ストップ！

夏の酷暑で熱中症になる人が増えたり、
猛烈な大雨や台風が頻繁に起こったり……。
地球温暖化が進み、私たちのくらしや世界中の自然に
さまざまな影響が出ています。その原因は、私たち自身。
身の回りからくらしを見直してみませんか？

CO₂は悪者？

もともと、地球の大气中には二酸化炭素（CO₂）などの「温室効果ガス」があります。温室効果ガスは、「温室」のように地球に届いた太陽の熱をつかまえて暖める働きがあり、地球の平均気温を14度前後に保ってきました。温室効果ガスがなければ、地球の平均気温はマイナス19度前後になると言われています。CO₂は私たちが快適に暮らす

昔 CO₂の排出が少ないくらしをしていました



今 CO₂の排出が多いくらしになりました



これから地球はどうなる？

ために、なくてはならない存在です。ところが今、温室効果ガス、特にCO₂が急激に増えています。石炭や石油、天然ガスといった化石燃料を使う量が増え、大気中に多くのCO₂が放出されているからです。化石燃料を使って生み出されているのが、私たちの便利なくらし。電気・ガス・ガソリンなどを使い、快適な生活を手に入れた結果、CO₂が増えすぎて熱が地球にこもってしまい、気温が上がっています。これが「地球温暖化」です。

地球温暖化が進むと、夏の猛暑日が増えたり、台風・洪水などの大きな災害が増えたり、暑さのために野菜やお米が育たなくなるなど、さまざまな影響があると言われています。すでに日本の平均気温は約100年間で1.4度の割合で上昇。世界の平均気温は、少なくともあと20年ほどは上昇を続けることが予測されていて、このままの生活を続けると今世紀末に最大5.7度上昇するとされています。

人間が豊かなくらしを送ることでCO₂の排出量が増え、異常気象などが発生し、私たちや生きもののくらし、そして地球の未来が脅かされています。今すぐCO₂の排出量を減らすこと、そのために化石燃料の使用量を減らしていくことが必要です。

もしこのまま気温が上がると……

気温が1.5度上昇すると



「10年に一度の豪雨」の頻度が1.5倍に

気温が2度上昇すると



サンゴ礁はほぼ消失、陸上の生態系も3～18%が絶滅の危機に

気温が4度以上上昇すると



世界中で野菜や果物が育ちににくくなり、収穫量が大幅に減少

IPCC第6次評価報告書第1・第2作業部会報告書 政策決定者向け要約 暫定訳（文部科学省及び気象庁、環境省）をもとに作成

今回の取り組みは、目標13：

気候変動に具体的な対策を

につながっています。

13 気候変動に
具体的な対策を



身の回りから CO₂を減らそう！

CO₂の多くは、人間が化石燃料を使うことで排出されます。それは遠い国の出来事ではなく、私たちのくらしが大きくかわること。一人ひとりがくらしを見直し、エネルギーを無駄なく、より効率よく使うことで、CO₂の排出量を減らしていくことが大切です。それは我慢や無理をすることではなく、みんなが身の回りで少しずつ気をつけること。家の中や移動中、買い物など、できることはたくさんあります。毎日の生活の中から「ここはCO₂がたくさん出ているな」「CO₂を減らすためにここを工夫しよう」というアイデアを見つけてみましょう。みんなのちょっとしたアイデアが、大きな力になります。

「こんなことができるかな？」アイデアをたくさん考えてみよう！

例えば

リビングで

テレビや照明をつけっぱなしにしない

扇風機を使ってエアコンを効率よく使用

冷蔵庫は整理整頓し、開ける時間を短く

できるだけ公共交通機関や自転車、徒歩で移動する

エレベーターではなく階段を使う

調理の際は炎が鍋底からはみ出さないように

移動のときは

キッチンで

コープデリのグループでは、地球と私たち生きものに悪い影響を与える「温室効果ガス（特にCO₂）」「使い捨てプラスチック」「食品ロス」をなくすことをテーマに、「コープデリのエコ活」に取り組んでいます。



コープデリのエコ活

みんなで地球温暖化に立ち向かおう！ エコなキャラクターや呪文を大募集！

最近の猛暑や異常気象……それは地球温暖化の化身「アツチアチ大魔王」のしわざかも?! 大魔王を弱らせる武器は、あなたのエコなアイデアです。右記の特設ページからツールをダウンロードして、大魔王に立ち向かうオリジナルキャラクターや呪文を作って応募しよう！



募集期間 7月27日(月)～8月28日(金)

コープデリグループは、事業と活動を通して「SDGs(持続可能な開発目標)」の達成を目指しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

